

東通村原子力発電所安全対策委員会開催 ～ 安全協定の運用・原子力防災の取組の状況などを報告 ～



越善村長挨拶

3月14日、東通村防災センターにおいて、東通村原子力発電所安全対策委員会が開催されました。

この委員会は、村内の関係機関の長等により構成されており、原子力発電所の状況の報告や確認などを行うとともに、「ご意見などを伺い、村として、様々な対応をしていくため設置しているものです。」



会議の風景

委員から、リスクコミュニケーション講演会について、非常に参考となる内容であったので、今後も継続して開催し、欲しいなどのご意見がありました。

また、東北電力㈱及び東京電力㈱から、それぞれの状況について説明がありました。

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から5年を経過しましたが、東通原子力発電所東北電力1号機は、原子力規制委員会において、新規制基準への適合性に係る審査が進められ、平成29年4月以降の再稼働を目指しており、現在停止している状況となっています。

また、東京電力1号機は、福島第一原子力発電所の事故への対応を最優先するため、一部の作業を除き、本格工事の開始を見合わせている状況となっています。

これらの状況は、地域経済や行財政へ大きな影響を与えています。

一方、国・県・事業者においては、福島第一原発の事故を踏まえ、原子力防災対策や安全対策について、様々な検討が進められています。

村としても、これらの状況を踏まえ、今後も、村民の安全と安心のため、全力で取り組んでまいります。



東北電力・東京電力から状況説明

平成27年度下北試験場関連公共用施設の整備について

平成27年度下北試験場関連公共用施設整備事業として、民労漁協フォークリフト整備事業を実施しました。

民労漁協フォークリフト整備事業は事業主体が民労漁協、事業期間は、平成27年7月13日から平成27年11月20日までで、2トンディーゼル車1台を導入しました。

事業費1,188,000円のうち、交付金を1,100,000円活用しております。

※ 特定防衛施設調整交付金は、防衛省技術研究本部下北試験場の所在によって国から交付されるものであり、周辺漁協に対する漁業振興対策に役立っています。

